



2021年5月7日

各 位

上場会社名 日本ユニシス株式会社
代表者名 代表取締役社長 平岡 昭良
(コード番号 8056 東証第1部)
問合せ先 広報部長 滝澤 素子
(TEL.03-5546-4111)

Purpose、Principles、Vision2030 の制定および 経営方針（2021-2023）策定に関するお知らせ

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長：平岡 昭良、以下 日本ユニシス）は、新たに Purpose、Principles、Vision2030 を制定するとともに、経営方針（2021-2023）を策定しました。

当社グループは、これまで取り組んできた新しい社会的価値創出の取り組みを糧に、社会の一員として、更なる貢献を行う決意を新たにし、長期に亘り果たしていく社会的役割として Purpose（企業の存在意義）を明らかにするとともに、Principles（原則・主義）および Vision2030 を制定し、これらと一貫性を持った経営方針を策定することでグループの役職員全員が同じベクトルを持ち、持続的成長を実現させていきたいと考えております。

新たな経営方針（2021-2023）では基本方針を、お客様の持続的成長に貢献する顧客 DX の推進「For Customer（フォー・カスタマ）」と、様々な業種業界のお客様、パートナーと共に社会課題解決を進める社会 DX の推進「For Society（フォー・ソサエティ）」に定め、デジタルトランスフォーメーションを推進するお客様のベストプラクティスを積み重ね、社会のためにデジタルトランスフォーメーションを推進し、社会全体を捉えた大きな枠組みで、お客様やパートナーと共にビジネスエコシステムを拡大してまいります。

以 上

【Purpose、Principles、Vision2030】



<p align="center">企業理念・企業行動憲章</p> <p>・時代・環境が変化しようとも、企業が社会に存在し価値創造・提供していくための不変の価値観・目的などを定義した全ての活動の基礎となるもの</p>
<p align="center">Purpose / Corporate Statement / Principles</p> <p>長期に亘りNULグループが果たしていく社会的役割やそれを実現するための基本的な原則・主義等を定めたもの</p> <p>【Purpose】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の存在意義や果たすべき社会的役割などを表したものであり、事業推進にあたり、様々なステイクホルダーの共感を呼び込み巻き込んでいくための、NULグループらしさや経営の決意を含んだもの <p>【Corporate Statement】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の活動の在り方や目指す姿を社内外に一貫性を持って浸透させていくための端的なスローガン <p>【Principles】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業理念・企業行動憲章はもとより、PurposeやVisionを実現していくための原理・原則、主義・信条を定義したもの
<p align="center">Vision2030 / Materiality</p> <p>【Vision2030】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2030年に向け、NULグループが果たしていく役割や存在意義を表したものの、長期活動を推進していくための私たちの想いや決意を込めたもの <p>【Materiality】</p> <ul style="list-style-type: none"> NULグループが取り組む重要課題やそれらの指標を明らかにしたもの (Vision2030を受け2021年度に確定予定)
<p align="center">経営方針(2021~2023)</p> <p>・Vision2030を実現させるため、次期3か年で実現していく目標、推進するための主要戦略・推進体制等を明らかにしたもの</p>

■ Purpose

先見性と洞察力でテクノロジーの持つ可能性を引き出し、持続可能な社会を創出します

先見性・洞察力 × テクノロジー × ビジネスエコシステム = 社会的価値創出

■ Principles

【原理・原則】

- ・ 人権の尊重と社会的包摂
人権の尊重とジェンダー平等の実現を目指し、子供、高齢者、障がい者など、脆弱な立場におかれた一人ひとりを尊重します。
- ・ 多様性の受容と獲得
多様性を受容、尊重するとともに、自身の多様性を高めることで価値創出に努めます。
- ・ 自己研鑽と主体性の発揮
社会の期待と要請に対する感性を磨き、よりよい社会づくりに主体的に取り組みます。
- ・ 透明性高い企業活動と健全な企業体質
社会に対して透明性高い企業活動を行い、また健全な企業体質の維持・向上に努めます。
- ・ 誠実な履行
ステークホルダーの声に真摯に耳を傾け、社会通念上の善良な概念と良心に従い、原理・原則、主義・信条を誠実に履行します。

【主義・信条】

- ・ 善良な社会の一員としての真摯、且つ熱意ある取り組み
善良な社会の一員として、社会・環境との共存共栄と経営理念達成に向けて、真摯さと熱意をもって取り組みます。
- ・ 次世代へウェルビーイングをつなげる取り組み
いまわたしたちが自然から受けている恩恵や幸せな暮らしを次世代へとつなぐべく、持続的な社会づくりに積極的に取り組みます。

- **ビジネスエコシステム形成による価値の創出**
社会を洞察し、複数の社会課題解決の相互関連性を視野に入れ、ステークホルダーと共に様々な知・資源を結集し、価値創出に取り組みます。
- **高品質・高技術・卓越性の追求**
高品質・高技術なサービス提供実現に向け、卓越した技量を追求します。
- **社会的価値の創出と持続的成長の実現**
社会環境の変化に応じた意思決定と確実な遂行を通し、社会的価値の創出を追求することを通じて日本ユニシスグループの持続的成長を実現します。

■ Vision2030

わたしたちは、デジタルコモンズを誰もが幸せに暮らせる社会づくりを推進するしくみに育てていきます



經營方針(2021-2023)



目指す姿 Vision2030

基本方針

風土改革

投資戦略

連結数値目標

わたしたちは、デジタルコモンズを誰もが幸せに暮らせる社会づくりを推進するしくみに育てていきます

レジリエンス

自律分散した
生存力・復元力のある環境

リジェネラティブ

再生型
ネットポジティブ社会へ

ゼロエミッション

デジタルを活用した
環境貢献、環境負荷の軽減

働く・暮らし



医療・教育



デジタル・セキュリティ



交通・モビリティ



グリーンエネルギー



デジタルコモンズ

顧客DXと社会DXを両面から推進し、社会全体を捉えたより大きな枠組みで事業育成を図り、パートナーやコミュニティと共にビジネスエコシステムを拡大させ、Vision2030実現に繋げる



価値創出力の強化を図り、社会的価値の創出を通じて顧客の持続的成長に繋がるDXを推進する

For Customer

顧客DXの推進

社会DXに繋がる企業・業界のDXを顧客と共にやり遂げる

Agility
俊敏

Co-Creation
共創

For Society

社会DXの推進

より良い社会の実現に向けた社会課題解決

Transformation
変革

Implementation
実装

Hands-on
実践



- 取り組み事例（小売業）
- ・キャンペーンマネジメントサービス
 - ・AI需要予測自動発注サービス
AI-Order-Foresight



多様な業界の顧客・パートナーとのリレーションシップやベストプラクティスを活かし、
社会や地球全体最適で捉えたビジネス構想を実現する

For Society 社会DXの推進

より良い社会の実現に向けた社会課題解決



Vision2030の実現に向けて、価値創出力を強化するため、風土改革を推進する

社会に対するコミットメント

社会からの信頼や期待の獲得



社会

社会、日本ユニシスグループの サステナビリティを実現するサイクル



日本ユニシス
グループ

社会課題の解決

新たなマーケットの形成

イノベーションの創出

社員

チャレンジや自己実現を
応援・称賛する風土・文化

環境貢献

ダイバーシティ&
インクルージョン

働き方改革

人財戦略・
マネジメント改革

業務改革
(プロセス・システム)

グループ
ガバナンス

先端テクノロジー活用とイノベーションの持続的な創出を目指しつつ、戦略投資を加速する

戦略
投資

- 中長期的な視点で社会課題解決を推進するため、ICT領域に捉われることなく、革新的な技術を持つスタートアップに対する出資・協業を継続
- M&A機会の積極的な探索と実行推進
- 共創的新事業立ち上げのための投資を推進

研究
開発

- 深い業界/顧客理解に基づきDXを加速させる、サービス開発の強化
- 先端テクノロジーを基軸とした研究・開発の強化
- サービス型ビジネスを加速するサービス開発や技術力の強化

設備
投資

- アウトソーシングやサービス型ビジネスへの継続的な投資

構造改革
投資

- 新たなケイパビリティ獲得のための人財改革
- 新しい柔軟な働き方のための施策
- ビジネスのさらなるデジタル化に向けた社内改革(社内DXの推進)

2024年3月期 数値目標(IFRS)

調整後営業利益率(※1)	10%以上
--------------	-------

売上収益	3,400億円
------	---------

うち、アウトソーシング(※2)	1,000億円
-----------------	---------

ROE	15%目途
-----	-------

配当性向	40%目途
------	-------

※1 調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

※2 システムの運用受託だけでなく、当社が事業主体として提供するサービス型ビジネスを含む

The background features a light blue gradient with scattered, semi-transparent triangles in various colors (orange, green, blue, pink, yellow). On the right side, there is a faint, stylized globe composed of small triangles.

Foresight in sight

(注意)

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があり、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。